

保育園期の足背・膝裏症状が治療開始後に軽減した小児アトピーの経過 (9 歳男児)

症例 ID : 001-09-YY9

記録日 : 2010 年 8 月 26 日

1. 診断・治療前経過

保育園年中頃、足の甲と膝裏に皮膚症状が出て、近医で外用薬を処方されました。強い薬と説明された外用薬を使用すると一時的に軽くなりましたが、症状を繰り返しました。

2004 年 10 月に松本医院を受診され、治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	保育園年中頃にステロイド外用薬を処方されましたが、使用頻度は少ない状態でした。
製品名	不明です。
強度	不明です。1 剤は連日の使用を避けるよう説明されました。
使用期間	確認できません。
中止時期	2004 年 10 月の松本医院受診前です。
来院前／後	来院前に外用歴があります。来院後は従来の外用薬を使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
保育園年中頃	発症	足の甲と膝裏に症状が出ました。
2004 年 10 月	治療開始	松本医院を受診し、治療を開始しました。
開始 1～2 週間	皮膚の変化	足の甲と膝裏の症状が軽くなる変化がみられました。
2004 年 10 月～2005 年 1 月	画像記録	足の甲と膝裏の皮膚状態を毎月撮影しました。
2005 年 3 月頃	症状の軽減	足の甲と膝裏の症状はほとんど出なくなりました。
その後約 2 年間	治療継続	花粉症に対する治療を続け、花粉の時期にも症状が出なくなったため通院を中断しました。

4. ピーク時期

ピークは、保育園年中頃に足の甲と膝裏へ症状が出て、外用薬を使用しても繰り返していた時期です。

5. 困りごと

- 足の甲と膝裏の症状が繰り返しました。
- 幼児期に苦い煎じ薬を継続して服用する必要がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中の記録として掲載しています。

(1) 足の甲の経過画像



2004 年 10 月。足の甲の状態。



2004 年 11 月。足の甲の状態。



2004 年 12 月。足の甲の状態。



2005 年 1 月。足の甲の状態。

(2) 膝裏の経過画像



2004 年 10 月。膝裏の状態。



2004 年 11 月。膝裏の状態。



2004 年 12 月。膝裏の状態。



2005 年 1 月。膝裏の状態。

7. 経過のまとめ

2004 年 10 月の治療開始後、足の甲と膝裏の症状は段階的に軽くなり、2005 年 3 月頃にはほとんど出なくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。